

庭田です。

3月15日(日)に東谷山に山スキーに行ってきました。

天気予報とにらめっこしつつの計画でしたが、予報より天気は好転し、晴天のツアー日和になり大満足の1日でした。

【山城】三国山脈 東谷山

【日程】2015/03/15

【メンバー】CL 吉川 SL 柘植 庭田(記)

【スケジュール】

3:30 市川インター → 7:30 田代スキー場駐車場 → 8:00 二居集落スタート → 8:30 二居峠 → 11:00 1500m 付近 → 11:30 東谷山山頂
12:00 ドロップイン → 13:00 国道 → 14:09 発 貝掛温泉バス停 → 14:30 帰葉 → 19:30 市川インター

今年は週末の天気がいまひとつで、特に日本海側は天候が悪い日が多く3度目の正直でやっと東谷山のツアーが実現した。(と、いっても別の山城に行く予定が悪天予報のため変更になったのだが、) 東谷山は厳冬期に何度かツアーに参加した事はあるが、春に来るのは初めてだ。

厳冬期には、すんばらしいパウダーランが楽しめる人気の山だ。

市川インターから首都高を經由して湯沢インターへ向かう。早朝のため車も少なく順調に進んでいたが、東松山で重大事故による通行止め。否応なしに高速を降ろされて、下道を通って「花園」インターから再度関越に乗る。30分以上のロスタイムとなってしまった。

今回は二居峠から尾根をあがっていくルートで登る。

車を田代スキー場に停めて集落から二居峠にむかって進む。明瞭なトレースが続いておりルートは分かり易い。二居峠で5人組のつぼ足パーティに会う。登りで会ったのは、このパーティだけだった。ここから山頂へ向かって尾根歩きとなる。

1200m ぐらいから斜度がきつくなり、ここで春の雪はシールが効かず苦勞する。つぼ足組もわかんで滑っているので嫌な予感がしたが、想像以上に苦勞した。この時期は、スキーを担いでアイゼンで登る手もあったかもしれない。

1500m 付近に到着すると斜度はゆるくなり尾根も広がり、のんびりとハイクアップできるようになった。

360 度の大自然を楽しみながら山頂へ向かう。山は苦勞した後にちゃんとご褒美を用意してくれていた。ベテランのお二人は山城を観ながら、次々と山の名前が出てくる。

山頂で先行していた、つぼ足パーティに会う。これから日白山へ向かうとの事。「次は我々も、このルートでいってみたいね。」 次なる目標ができた。

さて、いよいよドロップダウン。

山頂から北西方面に、広い谷を滑って行く。途中、柘植さんのスキーに雪のだんごができてしまい滑れな

なくなりました。私も以前やってしまいましたが、板に何かくっついていると（私の場合は新しいシールを使った時にシールが板についてしまったのが原因）そこに雪のかたまりが出来てしまう。

雪の塊と汚れをとり、吉川さんが持っていたワックスを塗って解決した。春の雪はシールにも、だんごが出来たりと、なにかとトラブルが発生しやすいので、いろいろな場面を想定して準備をする必要性を感じた。

雪質は予想通り重めだが、コントロールが出来ないような悪雪ではなく、まーまーの重めパウダー。上部では雄叫びも出た。各々好きなコースを自由に滑走する。トラバースポイントはなく、素直に谷を下っていけば林道に合流する。滑走ルートも分かり易い。

下部は雪が固まっており、完全なストツプスノー。上部の急斜面より気を使う。転ばないように慎重に滑る。

下りは早い。あっという間に国道に出た。ここで板をはずす。国道下をくぐるところで、私は板のバンドが見つからず、このまま通過するのは無理と判断し、上から国道に出た。先行しているはずの、吉川さんと柘植さんを探しながら国道を歩いているが二人は見当たらない。迷子になってしまった。。

貝掛温泉のバス停にたどり着いた時に、柘植さんから電話。「探していたよ～」との事。「すいません、、迷子になっちゃいました。。」無事バス停で合流し、14：09 発のバスで田代スキー場へ。

今回は渋滞を考えて、早めに帰る事にして温泉には寄らなかった。結果これが大正解。

その後関越では、事故と自然渋滞のため、月夜野から断続的に渋滞が続いていた。

その他

田代スキー場駐車場代

500 円/1 日

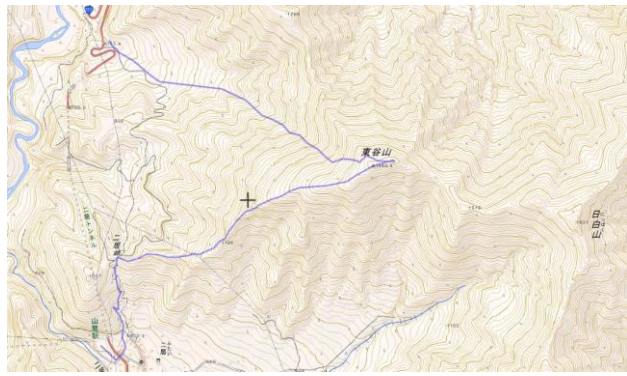
バス代

300 円/1 人

バスの運賃 ¥200 + スキーの持ち込み費用 ¥100

登山ザックも追加料金の対象になっていたが、徴収されたのはスキー板だけだった。

どうやら、どちらかが徴収されるシステムのようなのだ。



01 東谷山の GPS トラック



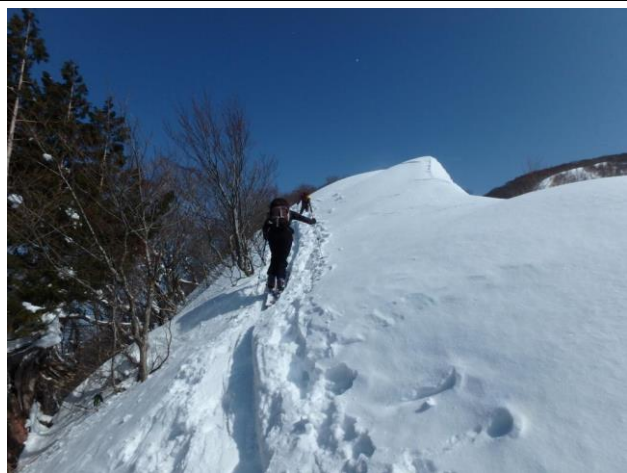
02 二居峠に登り着く



03 峠からしばらくは緩やかな登り



04 鉄塔目指してトレースをたどる



05 だんだん厳しい登りになる



06 もう限界って感じ



07 そこを頑張ると尾根は次第に緩やかに



08 山頂台地の一角から（後方は苗場山から佐武流方面）



09 東谷山の山頂（後方は右：巻機山、中央は越後三山、左：飯土山）



10 東谷山の山頂（後方は右：平標～仙ノ倉、左：日白山～タカマタギ方面）



11 山頂からドロップイン（吉川さん）



12 山頂からドロップイン（庭田さん）



13 やや重めの雪だが軽快に滑り下りる吉川さん



14 庭田さんと柘植も続く



15 国道手前の橋に到着



16 国道の下を潜り抜けて終了